

特集

「— 岡山県笠岡市 — 瀬戸内に浮かぶ巨石の王国」

高島の磐座

藪田徳蔵

高島・白石島探訪記

柳原 輝明

巨石が語る常世への入口

渡辺 豊和

岡山県笠岡市  
高島・白石島  
名勝遺蹟帖

# イワクラ学会会報

特集

『— 岡山県笠岡市 —

瀬戸内に浮かぶ巨石の王国』

見える洋上に浮かぶそれら二つの島々の

名は高島と白石島。

数多の島が浮かぶ瀬戸内海。

その洋上には現代に至るまでも連綿と続く

神々への信仰を守る島が数多くある。

岡山県笠岡市。

ここ多くの奇岩を擁する二つの島が在る。

神の名を冠された神島から

# 高島の磐座 — 岡山県笠岡市 —

笠岡市高島 藪田徳蔵

高島は、古事記、日本書紀などに神武天皇が御東征の途中3〜8年滞在された島として語り伝えられ、昔から井戸、掘から出る土器は王（おおきみ）の焼き物と言われ、昭和15年頃から昭和19年頃まで発掘調査等色々あった島ですが、敗戦と神話に近い文字の記録のないことでそのままになって併せて昔から八合目から上ははげ

て山肌の美しい島は、植林事業のためジャングル状態になりました。子供の頃はげ山で東西南北島を走り回ったものですが、大岩の集場所を、そこに自然にある大岩として遊び場所にしていたのですが、その場所に行つてジャングルの中にあるのが人の手によって集められ重ねられたり据え付けられたりしていることが解りました。周囲

5.9 kmの島ですが、4人くらいで整備にかかったのですが、現在3人で整備しています。

私の感じでは島全体が一大聖地の感じを受けます。巨大な勢力者がとてつもない大工事をしたことは間違いのないように思えます。

そこは祈りの場であったり、見張り場所であったり、そうした感じを受けます。中でも、島の磐座の「子妊石」（東西8.3 m、南北5.5 m、高さ4.7 m）を自然石（真北・大陰石、真南・人工陰石、天井部・人工陰石）が3ヶ所の接地部で美しい施工で設置されていることは圧巻です。

## 1. 磐座の位置

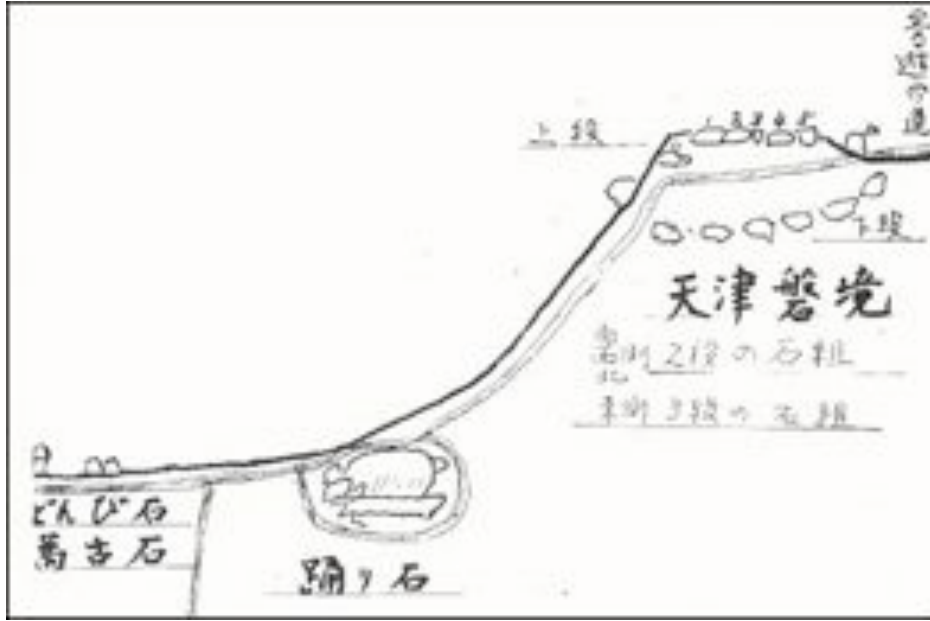


図：高島の全体地図

2. 王久山遺跡

王久山遺跡は、島の中央部よりやや西よりの標高80.5mの山（王久山）の中腹に展開している。

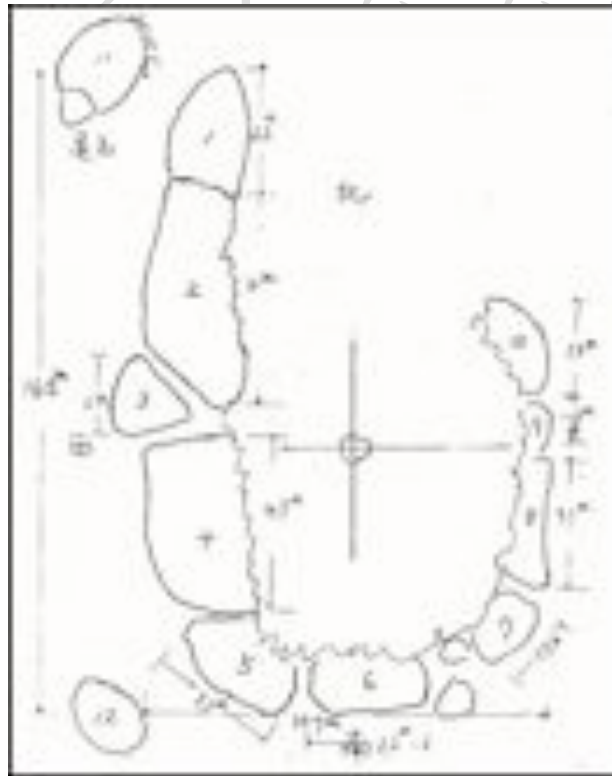
天津磐境①は、山の形を利用して、巨石を集めて磐座を造っており、巨石の数が最も多く南北西は2段、東は谷が深いので3段巨石をめぐらしております。



図：王久山遺跡断面図

イワクラ学会会報

頂上部は、図のような直径十数メートルの平坦地になっており、何らかの祀りが行われる広場のようになっています。そして、それを守護するかのようには亀石と守護石が据えられています。



図：天津磐境頂上部平面図

すぐ近くに岩戸石⑩と云う子妊石より大きい石があり、西下に踊り石⑦と言う巨石、その下側には台石が敷いてあります。この北方50mに「どんび石⑧」と「萬古石⑨」があり、男神と女神を表しているようです。



写真：磐境頂上部



写真：亀石



写真：どんびし石



写真：萬古石

# イワクラ学会会報

## 3. 西の磐座

島の西の標高52mの小山の頂上部にある。そこは、砂防植林を免れて昔のままの山肌を残した美しい風景のところだ。

そこには、子妊石と言う奇怪な形状をした磐座があります。この磐は風化によって形作られたというより、海水の浸食により形作られたと言えそうです。私が子供のころ、この磐に牡蠣殻が付着していた事を覚えています。このことから、この磐が元々この場所に在ったと言うより、何らかの方法でこの場所に据えられたとしか考えられません。

またこの磐座より反対側、東の海辺に巨大な立石がありました。残念ながら150年前それは石材業者によって切り取られ運び出されてしまいました。



写真：子妊石



図：子妊石仕口

子妊石と土台となつてゐる岩盤との設置部分は、図のように3箇所を支えられており、しかもその接地面は見事な仕口を示しており、これも自然の造形と言うより人為的なにおいがします。



写真：子妊石仕口



図：天目岩

天目岩④は海上にあつて、④の子妊石の頂部に刻まれたスリットの指し示す線上に位置しています。この天目岩と子妊石とは一対のものとして、海上航行の目印として、また灯台としての役割を果たしていたものと想像されます。

#### 4. 東の磐座

神武遺跡である「高島行宮跡②」は大正から昭和14年頃にかけて工事をし、途中で中止。そのため、古代の磐座の石が荒らされて使われていません。幸い頂上部はあまり破壊されず、巨石で縁取られた磐境を示しています。



写真：東の磐座

#### 5. 北の磐座



写真：北の磐座

明治天皇招魂碑⑥が大正4年に建てられています。磐座か古墳と考える石が使用されています。少し西に亀型の天井板の古墳⑪が出土し、身分の高い人のものでないかと思われます。100m下には古墳時代のものと思われる普通の古墳⑫があります。浜辺には親子亀石⑬があります。安政年間に幕府の用材(台場)として切り取られた天目岩⑭跡が

海上にあります。

#### 6. その他の磐座

その他、高島には未発見の磐座が多数ありそうです。その中でも新発見の磐座③(現在整備中)は、辺地にあるため碎石業者に荒らされています。また、王久山遺跡南部にある南磐座⑤は、現在視界200度位切り拓いています。

以上が高島の巨石について解ったことですが、まだまだ謎の多い島で、昔天然の良港と水の多い事、東西の潮の合流点、また陸地に最も近く海は堀の役目をした城ではなかったろうか等想像されます。

(岡山県高島の藪田徳蔵さんから提供いただいた資料を基に事務局柳原が編集した)